

2024 5月2日
No.71



みどり市

議会だより

令和6年 第1回定例会（3月）

＜主な内容＞

本会議	2～3
表決結果	4
総括質疑	5～7
予算特別委員会	8～9
常任委員会	10～11
所管事務調査報告	11
一般質問	12～21
みどり市議会掲示板	22

わたらせ渓谷鐵道 快速S L 連結花桃号

令和6年3月24日と30日の両日、J R両毛線高崎―桐生間を6年ぶりにS L（C61）が走行しました。

わたらせ渓谷鐵道でもS Lの運行に合わせ、快速S L 連結花桃号を桐生―神戸間で運行したことで、多くの鉄道ファンが市内の両毛線沿線の撮影スポットや神戸駅周辺でもカメラを構え、楽しみに一瞬を待っていました。

3月定例会
ココがギロンの
論点!

ご存知ですか!?

3月議会が トクベツな3つの理由



令和6年第1回定例会は、2月20日から3月21日まで31日間の日程で開催されました。

市長から、令和6年度予算をはじめ条例改正など46議案、議会から2議案が上程され、慎重審議の結果、全ての議案が可決されました。また、本定例会では市長から令和6年度の施政方針が表明され、各党派による総括質疑が行われました。

一般質問には10名が登壇し、市政を質しました。



その1 新年度予算審議・審査を行う

予算特別委員会が設置され、上程された一般会計のほか各特別会計、事業会計の審査を3日間かけて行います。※予算特別委員会で審査した内容の詳細は8～9ページ参照

その2 市長は 施政方針 を表明

施政方針とは、来年度の市政運営に向けた市長の考え方や方向性（主要施策・予算概要・組織の改編）を示すものです。

～令和6年度 8つの重点施策～

- ①地域における DX の更なる推進
- ②ターゲットを意識した移住定住の促進
- ③子育て支援による少子化対策の推進
- ④特色ある教育環境の整備
- ⑤スポーツと健康づくりの連携、推進による地域活力の向上
- ⑥「みどり5つのゼロ宣言」実現に向けた取組
- ⑦持続可能な都市基盤の構築
- ⑧「稼げる」まちづくりの推進

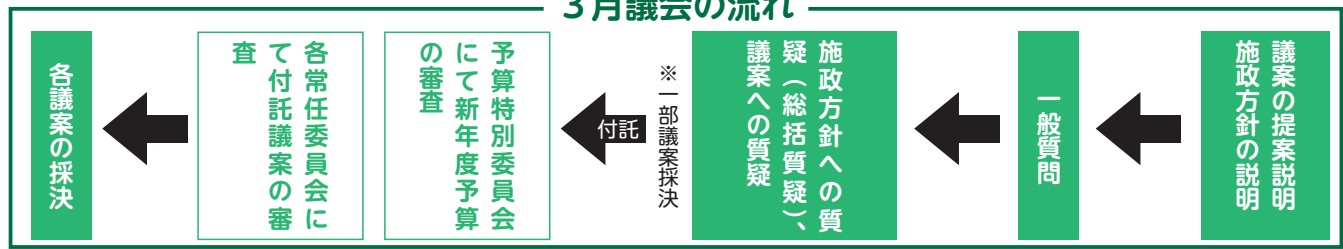


その3 議案審議 の流れが違う

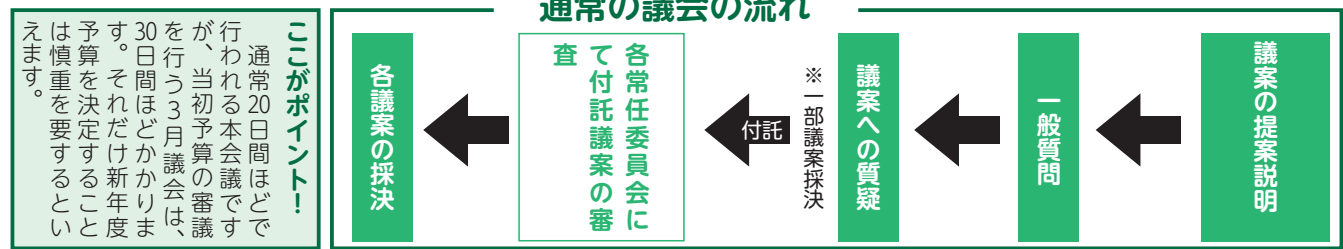
本会議

委員会

3月議会の流れ



通常の議会の流れ



令和 5 年度 各会計補正予算一覧表 (3 月補正)

会計区分				補正額	補正後の額
一 般 会 計				7 億 4,437 万 2 千円	240 億 5,540 万 9 千円
特 別 会 計	太 陽 光 発 電 事 業			6 万 8 千円	7,961 万 8 千円
	鉄 道 経 営 対 策 事 業			6 万円	4,027 万 6 千円
	国民健康保険（事業勘定）			1,124 万 5 千円	57 億 3,724 万 6 千円
	国民健康保険（診療所勘定）			▲ 1,538 万 6 千円	9,094 万円
	後 期 高 齢 者 医 療			1,808 万 5 千円	7 億 1,044 万 4 千円
	介護保険（保険事業勘定）			▲ 878 万 2 千円	47 億 9,716 万 3 千円
	農 業 集 落 排 水 事 業			3,590 万 2 千円	8,131 万円
	富 弘 美 術 館 事 業			▲ 635 万 5 千円	1 億 2,173 万 3 千円
	競 艇 事 業			94 万 4 千円	1,660 億 6,539 万 6 千円
事 業 会 計	簡易水道	収益的収入	第1款 水道事業収益	▲ 87 万 5 千円	1 億 4,076 万 1 千円
		収益的支出	第1款 水道事業費用	169 万 4 千円	1 億 3,653 万 9 千円
		資本的収入	第1款 資本的収入	▲ 5,510 万円	1,820 万円
		資本的支出	第1款 資本的支出	▲ 5,144 万 2 千円	4,713 万 1 千円
	公共下水道	収益的収入	第1款 下水道事業収益	▲ 216 万 9 千円	7 億 4,271 万 8 千円
		収益的支出	第1款 下水道事業費用	25 万 2 千円	6 億 6,828 万 3 千円
		資本的収入	第1款 資本的収入	▲ 1 億 90 万円	7 億 5,441 万 8 千円
		資本的支出	第1款 資本的支出	▲ 1 億 1,102 万 6 千円	9 億 9,645 万 1 千円

※ 「▲」は予算の減額を表します。

令和 6 年能登半島地震の被災地域に対する「義援金」を送金しました

みどり市議会では、令和 6 年能登半島地震の被災地支援として全議員 18 名で取り組み、全国市議会議長会・北信越市議会議長会を通じて、義援金をお送りしました。

○義援金の額 180,000円

○送金した日 令和 6 年 2 月 21 日

○送 金 先 北信越市議会議長会 災害義援金口座
(富山市 議会事務局)

全員賛成で可決した議案

区分	番号	件名
承認	第1号	専決処分した事件（令和5年度みどり市一般会計補正予算（第7号））の承認について
議案	第1号	みどり市手数料条例の一部を改正する条例について
	第2号	みどり市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例及びみどり市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について
	第3号	みどり市行政組織条例の一部を改正する条例について
	第4号	みどり市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について
	第5号	みどり市印鑑条例の一部を改正する条例について
	第7号	みどり市介護保険条例の一部を改正する条例について
	第9号	みどり市子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例について
	第10号	みどり市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
	第11号	みどり市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
	第12号	みどり市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
	第13号	みどり市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例について
	第14号	みどり市公共下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について
	第15号	みどり市簡易水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について
	第16号	みどり市監査委員条例の一部を改正する条例について
	第17号	財産の無償譲渡について
	第18号	令和5年度みどり市一般会計補正予算（第8号）について
	第19号	令和5年度みどり市太陽光発電事業特別会計補正予算（第3号）について
	第20号	令和5年度みどり市鉄道経営対策事業特別会計補正予算（第1号）について
	第21号	令和5年度みどり市国民健康保険（事業勘定）特別会計補正予算（第4号）について
	第22号	令和5年度みどり市国民健康保険（診療所勘定）特別会計補正予算（第2号）について

区分	番号	件名
議案	第23号	令和5年度みどり市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）について
	第24号	令和5年度みどり市介護保険（保険事業勘定）特別会計補正予算（第3号）について
	第25号	令和5年度みどり市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）について
	第26号	令和5年度みどり市富弘美術館事業特別会計補正予算（第3号）について
	第27号	令和5年度みどり市競艇事業特別会計補正予算（第5号）について
	第28号	令和5年度みどり市簡易水道事業会計補正予算（第2号）について
	第29号	令和5年度みどり市公共下水道事業会計補正予算（第3号）について
	第31号	令和6年度みどり市太陽光発電事業特別会計予算について
	第32号	令和6年度みどり市鉄道経営対策事業特別会計予算について
	第34号	令和6年度みどり市国民健康保険（診療所勘定）特別会計予算について
	第37号	令和6年度みどり市戸別浄化槽事業特別会計予算について
	第38号	令和6年度みどり市農業集落排水事業特別会計予算について
	第39号	令和6年度みどり市企業用地整備事業特別会計予算について
	第40号	令和6年度みどり市富弘美術館事業特別会計予算について
	第42号	令和6年度みどり市簡易水道事業会計予算について
	第43号	令和6年度みどり市公共下水道事業会計予算について
	第44号	財産の取得について
	第45号	令和5年度みどり市一般会計補正予算（第9号）について
議案会	第5号	市長の専決処分事項の指定内容についての一部を変更することについて
	第6号	みどり市議会委員会条例の一部を改正する条例について

議案と賛否

賛否が分かれた議案と審議結果

区分	番号	会派 議員名 件名	広和 クラブ					市民 クラブ					新政 クラブ				クラブ 公明	日本共産 クラブ	無会派	合計	
			古田島和茂	柴崎訓佳	須藤口木代	須永信雄	深澤輝彦	中村正義	椎名祐司	上岡克己	阿左美守	堀内利之	金子勇人	松井篤	高岩木弘子	藤生吉顕	塩野央弥	宮崎武	石原真理子	杉山英行	賛成者数
議案	第6号	みどり市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—	16	1
	第8号	みどり市敬老祝金支給条例について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	—	15	2
	第30号	令和6年度みどり市一般会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—	16	1
	第33号	令和6年度みどり市国民健康保険（事業勘定）特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—	16	1
	第35号	令和6年度みどり市後期高齢者医療特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—	16	1
	第36号	令和6年度みどり市介護保険（保険事業勘定）特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—	16	1
	第41号	令和6年度みどり市競艇事業特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—	16	1

注1）表決結果の表示について、賛成の場合は「○」、反対の場合は「×」と表示しています。
注2）議長は可否同数以外の場合は、表決に加わらないため「—」と表示しています。

～市長に対する総括質疑～

広和クラブ



古田島 和茂 議員

問 令和6年度一般会計予算案は272億7000万円とあるが、未来への投資効果と後世への負担増の懸念は。

市長 人口減少問題が大きな課題となっており、何もしていかなければ、市の活気や移住定住などに変化は生じず、持続可能な街づくりにはならない。また、サレイク草木などの大型事業も進んでおり、完成後のランニングコストもかかるため、運営方法については民間活力も導入しながら、様々な方法を検討している。**問** スマートフォン講座の開設と、活用については。

市長 令和3年度から、60歳以上の市民を対象に初心者向けの基本的な操作など、身近で活用できる内容で講座を行っている。令和6年度においても、講座の内容や回数、会場について充実をさせていきたい。

問 トイレトラックの仕様と導入の必要性については。

市長 洋式の水洗トイレ4基と、多機能トイレ1基の合計5基を搭載。近年、さまざまな災害が頻発化しており、トイレ不足が問題となっている。災害を他人事ではなく、自分身事として考え、過去の大災害の教訓を生かすため、このトイレ問題に真正面から取り組み、ため導入を検討した。



須藤 日米代 議員

問 食べきり協力店の現在の登録店舗の数は。

市長 8店舗である。

問 登録拡大を促進するための手法、またインセンティブとしてポイントを付与するエコアクションの内容は。

市長 登録拡大を促進するため、市のホームページで登録した協力店の取組内容を紹介している。エコアクションの内容については、1ポイント1円として換算され、スマホアプリの中で管理し、市指定ゴミ袋、電子マネー、商品券などと交換ができる。

問 食育推進の観点から、給食残渣を利用して液体肥料を生成する循環型社会の実現について、給食残渣活用目標は。

市長 1日平均100キロ排出の内65キロを液体肥料として有効活用を目指す。

問 液体肥料生成までの期間は。

市長 24時間で畑にまくことができる。

問 みどり市農家へ液体肥料を配布する考えは。

市長 今後検討する。

問 相澤忠洋氏を題材とした岩宿遺跡発見80周年記念の映画製作については。

市長 令和8年完成を目指し、市を積極的にアピールしていく。



柴崎 訓佳 議員

問 大間々官民共創デザインの取り組み状況は。

市長 公募による民間のメンバーが具体的にやりたいことなどを話し合うワーキンググループを開催しながら、令和6年度において大間々官民共創デザインを策定し、町中のエリア価値向上に向け、民間と力を合わせて事業展開をしていく。

問 健康経営優良法人の認定については。

市長 現在、メンタルヘルス不調者などの対策を講じているが、包括連携協定を締結している群馬ヤクルト販売の協力をいただきながら健康経営の認定に向け努力している。

問 個別施設計画による大規模改修や解体などの計画は。

市長 廃止が決定している建物の解体後の跡地活用も含め、地域の方々と意見交換を行いながら、その地域にあった検討を進めていく。キャンプ場などの大規模改修については、建物評価や利用状況を踏まえた上で魅力ある施設になるように展開していく。



※令和6年3月11日、群馬県内の自治体でみどり市が初めて健康経営優良法人に認定されました。

ここが聞きたい！

市民クラブ



上岡 克己 議員

問 持続可能な未来への取り組みとしてデジタル技術の活用が求められているが、職員のスキルアップを目指した研修会の開催について、どのような内容、目的で行うのか。

市長 令和6年4月から令和8年3月までの2年間、民間からデジタル人材、専門人材を登用する中で、デジタル人材の役割として職員に対し、デジタル技術を活用した業務効率化、日頃の業務に対するデジタル化への意識づけ、また、情報セキュリティに対する研修などを定期的に行い、職員のデジタル活用に関するスキルアップを行っていきたいと考えている。

問 子育て世帯をターゲットにPRし、移住希望者に寄り添った支援環境を整えるため、効果的な情報発信と移住相談体制の取り組みとあるが、具体的な内容は。

市長 30代を中心とする子育て層の方々に合わせ、ス



マートフォンで見やすいように市のホームページのレイアウトを変更した。移住相談体制の具体的な取り組みに関しては、大間々駅前前の観光案内所に移住相談窓口を設置し、観光案内と併せて効果的に移住相談にもつなげていく。これまでに移住希望者から土日に相談したいという要望もあつたため、この窓口は土日、祝日も開設し対応する。子育て支援情報については、給食費の完全無料化、18歳までの医療費無料化、第1子からのおむつ券支給開始など、子育てしやすい環境が整っていることをインスタグラムなどのSNSを積極的に活用しながら、効果的に子育て支援情報を発信していく。



阿左美 守 議員

問 鹿田山周辺の散策ポイントコースで中島遺跡が抜けているが。

市長 令和6年度に鹿の川周辺の歩道整備事業が予定されていることから、鹿田山フットパスや岩宿博物館、鹿の川沼を1つの散策ポイントとして検討しているが、今後は中島遺跡なども広く取り込んでコースに加えていくことを考えている。市民の皆様に、市内各所を巡っていただけるよう、歩きたくなるような環境整備を行っていく。

問 天神山の整備事業計画は。

市長 令和6年度は、拡幅に必要な沿線用地の測量と、用地買収を実施する予定である。用地買収が順調に進んだ場合は、令和7年度から工事に着手し、工事については整備延長が長いので、2力年の期間が必要であり、完成は令和8年度になるものと考えている。

問 みどり5つのゼロ宣言実現に向けた、市民向けLED照明器具設置費用の補助事業の内容は。

市長 補助対象者は、市内に住民票のある方で、個人の住宅が対象となる。補助対象経費は、蛍光灯や白熱灯などの照明器具からLED照明器具へ交換するためのLED照明

器具本体及び工事費用である。補助金額については、対象経費の2分の1で、上限額は5万円である。

問 市民からの陳情、要望の多い道路整備についての取り組みは。

市長 陳情、要望が出ている生活道路は、生活道路整備事業として、予算額約5億2000万円を計上しており、25路線の整備を実施予定である。

問 群馬県に選定された新規産業団地の候補地について、令和6年度中の事業化決定に向けての今後の市の対応と計画は。

市長 地権者の同意取得のほか、農業振興地域からの除外に向けた調整、地歴調査の実施、土地改良区、あるいは電気、水道などインフラ事業者との事前調整などが必要となる。



令和6年度 施政方針

新政クラブ



高草木 弘子 議員

問 こども家庭センターの設置目的は。

市長 全ての子ども、妊産婦、子育て世帯への一体的な相談支援を行う。

問 一体的サポートは現状の職員体制で可能か。

市長 これまで以上に児童福祉と母子保健の職員が連携、協働して取り組む。

問 どのように子育てしやすい環境を整えるのか。

市長 第一子からのおむつ用品の支援、高校生までの医療費無料化などの経済的支援と子育て家庭への相談体制の充実を図る。

問 歩くまちみどりの目的は。

市長 歩く人を増やすことを目指しながら、スマートフォンアプリも導入する。

問 鹿田山周辺だけでなく、大間々町、東町も道路整備すべきでは。

市長 高津戸峡、ながめ公園、要害山、市街地を一体的に、大間々町や東町についても歩きたくなるよう道路環境整備を行うっていく。

問 職員の身体、メンタルの

健康維持への取り組み内容は。

市長 職員同士のコミュニケーションの促進により、風通しの良い職場環境をつくる。

問 孤独孤立対策の目的は。

市長 活動分野、業種を超えた支援者がつながる対策が推進できるよう日常からのつながりが実感できる社会を目指す。

問 高齢者の健康で自立した生活を応援する新たな事業とは。

市長 介護予防、生活支援、見守り、健康づくり、社会参加、生きがい対策に取り組む。

問 障がい者や高齢者への福祉施策が少ないのでは。

市長 限られた財源の中で必要な措置を行い、福祉の充実に取り組んでいく。



松井 篤 議員

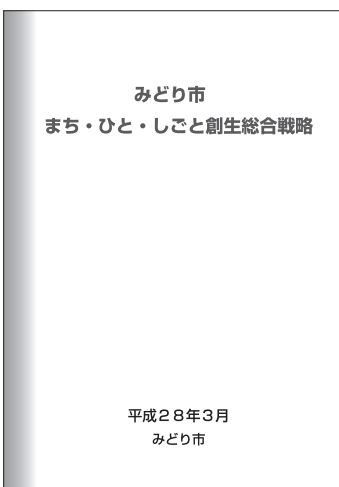
問 最大の課題である人口減少や少子化に対する取り組みについては、「子育て支援による少子化対策の推進」や「特色ある教育環境の整備」の施策だけで本筋に十分なのか。

市長 急激に進む人口減少社会において、様々な政策を、選択と集中を用いながら、本市の状況に合った政策を選んだ、集中的に予算を増額しているところである。

重点施策に掲げた「子育て支援や教育環境の整備」を進めるだけでなく、市外からの移住定住、あるいは企業誘致、産業振興を通じた地域雇用の拡大、また、市民が快適に暮らすことのできる都市基盤の整備も重要である。

特に、市民の定住を促進していく上でもハード面の整備が大事であり、道路・公園の整備、公共交通の拡充、コンパクト・プラス・ネットワークの考え方、持続可能な都市基盤の構築などを進めている。

人口減少や少子化対策は、庁内の各部署に関わる大きな課題であることから、ソフト面の取り組み、そしてハード面の整備をしっかりと進め「みどり市総合計画」や「みどり市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、持続可能なまちづくりを目指し、全庁一丸となつて取り組みを進め、ソフト・ハード両面から、本市の魅力を発信していきたい。



※コンパクト・プラス・ネットワーク…生活に必要な医療や福祉、商業などの機能を一定の地域にコンパクトに集約し、各地域を交通や情報通信などのネットワークで結ぶ考え方。



白熱した「議論」で 新年度予算をチェック！

「ギョウ」の視点」で新年度予算をピックアップしてみました☆

令和6年予算特別委員会は、3月4日に議長を除く17名で設置され、委員長に阿左美守委員、副委員長に中村正義委員を選出し、3月7日・8日・11日の3日間で審査を行いました。

予算の立案過程は透明なものか、それに基づく事業は市民の思いに添っているのかなど、さまざまな視点で質疑をし、白熱した議論が交わされました。一般会計予算は272億7000万円を可決しました。



阿左美 守 予算特別委員長

●災害用備蓄品整備事業 【危機管理課】

問 非常用備蓄品購入費で366万6000円を予算計上しているが、購入する備蓄品などの種類と配備先は。

答 賞味期限を迎える備蓄食料の買い替えを予定しているが、備蓄品の種類は、アルファ米を4800食、保存水1008本、羊かん430箱、粉ミルク24缶、液体ミルク168缶を市内12カ所の避難所と庁舎に配備する。また、不足するトイレ需要の解消として、ラップポントイレを2台、場所を仕切するための防災ルーム、停電対策用の照明器具3基を購入する予定である。



●映画製作事業 【地域創生課】

問 岩宿（旧石器）時代の石器を発見した相澤忠洋氏の功績を伝える映画の制作に当たり、上映時間が100分から120分ということで、子どもたちが見るには長いのでは。また、制作に係る費用は。

答 映画の時間については、映画館で上映できることを想定した時間設定をしているが、子どもたちが学校で見えていただくことも検討したい。また、制作費用については、公募型プロポーザルにより業者選定を行い、映画制作を行っていくが、上映まで約1億円の費用を見込んでいる。



●英語力向上対策事業 【学校教育課】

問 英語検定助成金210万円について、中学3年生の3級の受験料のみ5000円助成するのか。詳細な内容と積算根拠は。

答 市内中学校3年生420名に対して、5月に行われる英語検定において検定料1回分を全額助成し、全校体制で英検に取り組めるようにしたいという意図がある。また、予算の根拠については、学校を会場とすると検定料が若干安く4700円の420人分で197万4000円であるが、3級以外のほかの級を受験したい生徒にも対応できるよう若干上乗せした予算計上となっている。



●エコアクション推進事業 【生活環境課】

問 事業内容と、たまったポイントの交換方法などの周知については。

答 環境に配慮した行動、サービス利用に対してエコアクションポイントが付与されるという環境省のポイントプログラムを利用し、市民や市内事業者对环境により取り組みを行っていたり事業。周知方法については、ホームページや広報への掲載、回覧板による全戸配布、公式LINEによる配信、市が開催する各種イベントなどでチラシ配布やブースを設けるなどして啓発予定。また、小中学校、幼稚園、保育園でも周知を行い、子どもから大人への波及も目指す。



●子ども家庭総合支援事業 【こども課】

問 事業の詳細と、児童虐待などへの予防啓発の内容については。

答 虐待、DV予防、ヤングケアラー対策、ひとり親支援などの子ども家庭支援全般に係る相談、援助事業である。児童虐待などへの予防啓発の内容については、国により毎年11月が児童虐待防止月間と位置づけられており、本市においては広報への掲載、笠懸庁舎玄関前に啓発用懸垂幕の設置、公用車へのオレンジリボンマグネットの張りつけ、市内の公共機関などでの啓発ポスターの掲示、またリーフレットの配布などを行っている。



●店舗等利活用促進事業 【商工課】

問 令和5年度と比較すると200万円増額となっているが、その理由と積算根拠は。

答 本補助金は、市内の空き店舗を活用して出店する事業者に対する空き店舗活用補助金と、既存の店舗を改装してリニューアルする事業者に対する店舗リニューアル補助金の大きく2つの補助金がある。空き店舗を活用した補助金の活用が少ないことから、対象を空き家に広げるとともに、移住して起業する方等に加算措置を設けることで商店街の活性化、移住促進につなげていきたい。



●土地利用計画事業 【都市計画課】

問 土地利用計画事業に係る整備工事費の内容は。

答 まちづくりの取り組みとして、大間々官民共創デザインで官と民が連携してさまざまな取り組みを進めている。歩道の拡幅や美装化、案内標識を分かりやすくするなど、官の取り組みとして500万円を予算計上した。令和6年度は社会実験的な取り組みになると思うが、リノベーションまちづくりを活性化させたい。



●競艇事業特別会計 【競艇事業局】

問 令和6年度は令和5年度に比べて開催日数が6日多く、スケートボードパークなどの開設が予定されているが、入場料が減額して予算計上されている。入場料の積算根拠は。

答 令和6年度はGI競走が多く行われるが、コロナ禍による本場離れが続いていることや全体的に入場者が減少傾向に推移していることから、1日の入場予定数を1050人から50人減の1000人で予算計上している。スケートボードパークなどの新たな施設を設置することで入場者の減少に歯止めをかける。



総務文教常任委員会

本委員会は執行部出席のもと3月15日に開催した。

審査した議案（5件）

Pick up!

- 会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例及び職員の育児休業等に関する条例の一部改正

- 行政組織条例の一部改正

- 個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部改正

- 簡易水道事業の設置等に関する条例の一部改正

- 監査委員条例の一部改正

全ての議案を可決

会計年度任用職員の期末手当支給月数の改正へ

こんな議論がされました

●会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例及び職員の育児休業等に関する条例の一部改正

地方自治法の改正に伴い、会計年度任用職員を勤勉手当の支給対象とし、併せて期末手当の支給月数を改めるため、条例の一部を改正しようとするものの説明。

会計年度任用職員の給与に勤勉手当を追加し、支給に関する基準日や勤勉手当の要件に係る規定を新設するところがあるが、具体的な内容はとの質疑に対し、フルタイムの会計年度任用職員については、勤勉手当を2・05月分、また、パートタイムの会計年度任用職員については、0・975月分を規定し、基準日の考え方については、正規職員と同様に6月1日と12月1日とする。また、期末勤勉手当の基礎額についても、期末手当に係る規定と同様でそれぞれの基準日に受ける給与の月額となるが、時給の会計年度任用職員については、基準日前の6カ月の支給額の平均を期末勤勉手当の基礎額とするものとの答弁あり。討論はなく、採決の結果、挙手全員により可決すべきものと決定。

市民福祉常任委員会

本委員会は執行部出席のもと3月12日に開催した。

審査した議案（9件）

- 印鑑条例の一部改正
- 国民健康保険条例の一部改正

- 介護保険条例の一部改正

Pick up!

- 敬老祝金支給条例
- 子ども・子育て会議条例の一部改正

- 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正

- 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

- 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

- 財産の無償譲渡

全ての議案を可決

新たな高齢者施策に転換するため敬老祝金の制度見直しへ

こんな議論がされました

●敬老祝金支給条例

敬老祝金の財源の一部を、未来を見据えた地域の持続性を確保するための新たな高齢者施策に転換し、制度の見直しを行い、現行のみどり市敬老祝金支給条例の全部を改正しようとするものの説明。

説明経過についての質疑があり、詳細について議会に報告後、老人クラブ連合会、介護保険事業推進懇談会へ説明し、令和6年2月の市民福祉常任委員会協議会で当初予算の内容説明を行った。今後は民生委員やみどり市市長会でも報告し、想定25カ所、419人に説明が終了する予定との答弁あり。

また、当該者からの意見について質疑があり、老人クラブからは敬老祝金をもらえるだけではない、子供にお金がかかることは良いことだというご意見をいただいたとの答弁あり。

討論はなく、採決の結果、挙手多数により可決すべきものと決定。

全ての
議案を
可決

道路占用料を改定

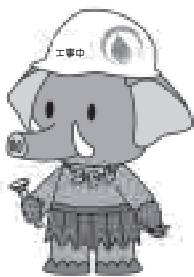


- 審査した議案（2件）**
- Pick up!**
○道路占用料徴収条例の一部改正
 - Pick up!**
○公共下水道事業の設置等に関する条例の一部改正

本委員会は執行部出席のもと3月14日に開催した。

経済建設常任委員会

こんな議論がされました



みどモス

●**公共下水道事業の設置等に関する条例の一部改正**
地方自治法の改正に伴い、条例の規定中に生じた条ずれ等を解消するため、条例の一部を改正しようとするものとの説明。質疑、討論もなく、採決の結果、挙手全員により可決すべきものと決定。

●**道路占用料徴収条例の一部改正**
群馬県道路占用料徴収条例が改正されたことに伴い、県条例に準じて定めている市の道路占用料を改め、併せて規定の整理をしようとするものとの説明。質疑、討論もなく、採決の結果、挙手全員により可決すべきものと決定。
※道路占用料：人や自動車が行き止まりといった本来の利用以外に道路を使用するときに支払う料金。

議会運営委員会

行政視察(研修)報告

令和6年1月17日から1月18日まで行政視察（研修）を実施した。

1月17日 予算決算常任委員会について 茨城県常陸大宮市



予算の所管課に応じて3つの常任委員会に分割付託をしていたが、この取り扱いが、議案一体の原則に反するものであるため、総合的・一体的に審査し、議会の政策活動及び監視機能を強化するため平成28年8月に予算決算常任委員会が設置された。予算決算常任委員会の委員定数は、議長を除く全議員の17人で、委員の任期は、2年としている。審査方法は、分科会は設けず、全体会方式で行っている。審査の流れについては、本会議で議案の上程、提案説明の後、常任委員会へ付託、予算決算常任委員会では執行部からの詳細説明の後、質疑（一問一答）、自由討議、討論、採決となる。今後の設置検討にあたり、参考となる部分が多々ある調査結果であった。

1月18日 予算常任委員会について 茨城県牛久市

設置目的は、予算は不可分であったものの、各常任委員会へ分割付託していた状況の改善と、全体予算を一年間審議継続し事業内容を熟知することで、翌年度の決算特別委員会での審議において予算執行の成果を考察できるためである。委員定数は全議員22名の半分で議長を除く11名である。委員任期は1年で当初予算審査から当該年度補正予算の審議を行い、3月補正予算については、翌年度当初予算審査の委員が担当する。審査日数については、当初予算及び決算審査は3日間、補正予算は1日間で、専決予算の承認及び繰越予算の報告は、予算常任委員会に付託せず本会議のみで審議している。取り組みについての課題、問題点などを含め、参考となるところが確認できた。





広和クラブ

須永 信雄 議員



エネルギーのベストミックスという考え方で選択すべきでは

答弁：課題や活用方法を考慮する

Q国内外のニュースでは、エネルギーの技術開発の進歩が早いと伝えられている。新しいエネルギー技術についての認識は。

A市民部長 新しい技術が生み出されていることは認識している。合成燃料などの製造技術が進むことで、脱炭素化の早期実現に結びつくことを期待している。

Q電気自動車や太陽光パネルを製造する際には銅やシリコンを多量に使っている。製造する際に多量の二酸化炭素が排出されるが、日本では製品を輸入しているので輸出国での環境負荷の大きさを知らない。こうしたことを踏まえて使うエネルギーや使用する素材を選択していくべきだが。

A市民部長 脱炭素を実現するためには再生可能エネルギーの利用促進が不可欠だが、今後は製造過程での温室効果ガス排出量などにも目を向け

総合的に判断する。

Q寿命がきた事業用太陽光パネルは産業廃棄物として処理される。令和4年改正再エネ特措法により廃棄費用は担保されるが、廃棄方法に不安が残る。みどり市では過去に2トン車10杯分の不法投棄があった。これを防止するための体制作りについての考え方は。

A市民部長 法律及び本市の条例により厳罰化されているが、不法投棄の防止や早期発見に向け、監視カメラの設置など対策を強化する。

Qみどり市内にある家庭用太陽光パネルの枚数について把握は。

A市民部長 本市では把握していないが、環境省が発表している家庭用パネルの総発電電力から算出すると、4万5000枚程度となる。

Q家庭で太陽光パネルを廃棄する場合は、施行店や解体業

者に依頼することになるが、市民への情報提供はどうするのか。

A市民部長 国のリーフレット、市のホームページ、広報などにより、しっかりと丁寧な情報提供を行う。

Q脱炭素に向けた再生可能エネルギーは、製造、運用、廃棄の過程でそれぞれ環境に影響を及ぼす。一つを選択するのではなく、発電では太陽光から小水力発電、木質バイオマスまで、自動車ではエンジン車から電気自動車、燃料電池車までの、エネルギーのベストミックスという考え方に立って選択すべきでは。

A市長 脱炭素に向け市の資源を活用した木の駅の設置、木質バイオマスボイラーの導入などに着手し、ご指摘の課題や活用方法を考慮しバスや公用車の入れ替えについても運行コストなど総合的に検討し、見極めたい。



広和クラブ

中村 正義 議員



クビアカツヤカミキリ被害の状況は

答弁：累計で318本、増加率は4・4倍に

Q クビアカツヤカミキリの被害状況は。

A 市民部長 被害の状況は令和6年1月末現在の累計で、桜142本、梅8本、桃109本、すもも14本、花桃45本の合計318本となっている。

Q 増加数、増加率は。

A 市民部長 令和2年度6本、令和3年度20本、令和4年度54本と、3倍前後の増加率で、令和5年度は令和6年1月末現在で238本と、令和4年度から5年度の被害の増加率は約4・4倍になっている。

Q 被害拡大時の観光地などへの影響は。

A 産業観光部長 伐採するまでには至っていない。現時点での影響はないと考えているが、伐採する範囲や本数が増えると影響が大きくなるの

で、予防を含め対策が必要である。

Q 今後の啓発活動については。

A 市民部長 被害が始める6月以前の適切な時期に、広報ホームページ、行政区への注意喚起の回覧は昨年も効果があったと認識しており、しっかりと周知をしていく。対策講習会についても、開催回数を増やし、身近な場所でも多くの方に参加してもらえるように努めていく。

Q 助成金の考えは。

A 市民部長 現在防除用の薬剤への補助や助成金の交付は行っていないが、駆除するためのスプレー薬剤の貸出しや、木の幹に巻くネットの配布を行っている。令和6年度は、伐採費用などへの補助を実施する予定はないが、被害対策の効果、今後の被害木の

発生状況を確認しながら事業化について検討していく。

Q 市民を巻き込むような今後の対策の考えは。

A 副市長 奨励金、奨励品を交付して、対策を実施している市町村があることは承知をしている。本市においても被害が拡大しており、先進事例を参考に、奨励品や表彰制度なども含め、被害段階に応じた対策がとれるように危機感を持って準備していくことが重要であると考えている。まずは今後の被害拡大を防ぐため、令和6年度からはこれまでの予防対策に加えて被害報告された木に、薬剤を樹幹注入していく対策に切り替え、市内全域で駆除に取り組んでいく。市民の皆様に参加、協力していただける取り組みを検討していく。



堀内 利之 議員



答弁：全庁的に研究をしていく

いることから、経営的な計画を市独自では行っていないの

Q みどり市への財政貢献は非

常に少ないと考えるが。

A 競艇事業局長 基本合意書

は、令和5年度で終了となる。新たな契約に向けて現在

も協議を行っている。本市としては、契約協議の中で売り

上げに見合った収益を確保でき
るように、さらに交渉を続

け、子育て支援や高齢者支援などに必要な財源として、少

しでも多くの収益を一般会計に繰り出せるよう努める。

※コミュニティエリア導入の考えは。

A 競艇事業局長 ボートレー
ス場内の北側に位置する施設

は、老朽化により改修する計画があると施設会社から聞い

ている。この大改修計画に合

などの設置の提案は可能と考
える。



市民クラブ

金子 勇人 議員



ふるさと納税を活用したクラウドファンディングについての見解は

答弁：必要な環境を整えていく

Q 能登半島地震と同レベルの地震発生時のライフライン確保は。

A 危機管理監 水道管の耐震適合率は全国平均を上回っているが、地震に強い水道管に取り替える工事を推進する。また、他自治体との相互応援協定や管工事協同組合との応急復旧の協力協定、民間事業者との応援資材の提供に関する協定を締結するほか、給水車両を追加導入するなど、対応力を強化。下水道においても、現在、群馬県が中心となり、県と市の相互応援体制の構築を進め、下水道関連団体と管路施設復旧支援協力協定の締結に向け準備中。また、電気や通信手段についても東京電力パワーグリッド株式会社、東日本電信電話株式会社と災害時における相互協力に関する協定を締結した。

Q ハザードマップ実効性確保への取り組みは。

A 危機管理監 現在のハザードマップは、避難経路を考え

るツールとして利用するには不便。また道路整備が鋭意進められている地域では、建物の配置や道路の形状が変わり、実情と異なっており、改訂について検討していく。

Q 経常収支比率が例年90%を超えているが、財政構造の課題認識は。

A 総務部長 県内他市と比較し高い数値となっている。要因は歳入面で毎年市税収入が一定であり他市より低いこと、歳出面では平成29年度から開始された給食費無料化などの影響と認識している。この厳しい状況を受け止め、令和6年度予算においてもシーリングの設定などを行い、財源の掘り起こし、事務事業の総点検に全庁的に取り組み、比率の圧縮に取り組んでいる。

Q ふるさと納税を活用したクラウドファンディングについての見解は。

A 総務部長 令和6年度から

ふるさと納税を活用したクラウドファンディングにより財源を確保し施策を実施できるよう、必要な環境を整えていく。

Q 教育予算の拡充を目的とした資金調達手法としてクラウドファンディングの可能性は。

A 教育部長 クラウドファンディングを取り入れれば、資金の確保が可能になるほか、子どもたちにとって人材や教材と触れ合う絶好の機会になる。この仕組みを教育に特化して導入することは、本市の特色ある教育を後押しするものとなる。本市でも教育にかかる資金をクラウドファンディングで調達できる価値ある政策を創造し、研究していく。

Q やるリスクよりやらないリスクが大きいと考える。前向きに調査研究を。





広和クラブ

深澤 輝彦 議員



大間々町にも何らかの施設建設が計画されても良いのでは 答弁…東町や笠懸町の施設整備はみどり市全体の活性化に寄与する

Q 笠懸町には西鹿田グリーンパークとかたくりの湯、東町にはサンレイク草木の新設が決まっている。大間々町だけ大型施設の建設がない。大間々町にも何らかの施設建設が計画されても良いのでは。

A 市長 大間々町は5年後400年を迎える祇園祭、歴史を感じる街並み、高津戸峡など景観資源が集約された地域でもある。笠懸町や東町にはそういったものはない。これらの資源を生かしながら、地域の課題を解決し、エリア価値の向上を目指す民間主導のリノベーションまちづくり事業も今始まっている。行政だけでなく、民間の資金も投入できると思っている。

Q 笠懸町や東町に比べて大間々町に投下される金額の桁が明らかに違うように思う。

A 市長 大間々町は歴史伝統文化、自然が備わった地域である。こういったものを更に磨き上げていき、大間々町が持っている資源を最大限活用して、市全体を元気にしていきたい。

Q 能登半島地震では、多くの教訓が導き出されたと思う。その教訓と対策について伺う。

A 危機管理監 今回の地震では土砂崩れで道路が寸断されたり、多くの集落が孤立状態になり、救助や輸送が困難になったということ。また、過疎化が進んだ地域においては住宅の老朽化、あるいは耐震化の遅れなどから、被害の拡大を招いた可能性があると認識している。本市では現在旧耐震基準の木造住宅に対して、耐震診断や耐震改修補助事業を行っている。他にもライフラインの破綻や避難所生活におけるトイレ問題、また二次避難に対する課題など、改めて自然災害の脅威に驚かされるところに、災害対応の大切さや難しさについて再確認したところである。



日本共産党クラブ

石原 真理子 議員



競艇事業運営の協議状況は

答弁：平行線が続き締結には至っていない

Q 令和6年4月からの保育士配置基準は。

に伝えながら、市としてできる施策に取り組みたい。

A 保健福祉部長 保育士1人

に対して、0歳児は3人、1

歳と2歳児は6人、3歳児は

15人、4歳と5歳児が25人と

なる。

Q 障がい児を受け入れている保育園とその人数は。

は至っていない。

A 保健福祉部長 令和6年2

月1日現在、たけのこ保育園

2名、けやき保育園2名、赤

城保育園7名、二葉保育園2

名、東保育園1名、みどりの

もり2名、合計6園、16名に

なる。

Q 今の配置基準で保育士が一

人トイレの補助につきつきり

になれば他の子どもの対応が

できなくなる。「もう一人保

育士を配置しては」という声

が上がっているが。

A 市長 地域の実情などを国

Q 令和6年度の競艇事業運営に関する協議状況は。

A 競艇事業局長 令和6年度

以降の契約協議は、20回実施

したが、平行線が続き締結に

は至っていない。

Q 基本合意書などの締結内容を議会に報告できるのはいつ

になるのか。

A 競艇事業局長 具体的な契

約内容も確定していないため

報告に至っていない。

Q 令和6年度以降の開催は可能か。

A 競艇事業局長 令和5年度

内に協議中の収益配分が確定

しない場合、基本合意書の第

8条で「各契約において特別

な定めがない限り1年間に限

り更新される」と謳っている

ことから開催の継続は可能である。

Q 1月の新聞記事によると、

市長は「競艇事業は売り上げ

が好調。他市がうらやむよう

な福利厚生が展開できるよう

にしたい」と述べているが考

えは。

A 市長 少しでも多くの収益

を獲得し、市民生活の向上、

市の財政に貢献できるよう取

り組んでいきたい。



最後は市長の本気度にかかっている。施行権を返上し、競艇事業から

撤退する考えもあると施設会

社に示してはどうか。今まで

より前進した契約であれば保

育園にもう一人保育士を配置

することも可能。他市がうら

やむような福利厚生施策をお

願いしたい。



新政クラブ

藤生 吉顕 議員



岩宿駅北口駅前広場再整備の見通しは

答弁…令和9年度完成を目指し、進んでいる

Q 約1年間の実証運転の中で、大間々笠懸路線バスの岩宿駅南口での利用状況と利用者の声は。

A 総務部長 全乗降客の8%で推移してきたが、令和5年10月のダイヤ改正後から11・8%へ上昇している。また、利用者の声としては、バス停の追加設置や運行エリア拡大、鉄道との接続を踏まえたダイヤ改正などの要望が寄せられている。

Q 岩宿駅を核としたまちづくりプランでは、優先度1として北口駅前広場再整備、駐車駐輪スペースの拡大、分かりやすいサインの導入などの検討が5年以内の短期計画として示されているが、現在までの進捗よくと今後の見通しは。

A 都市建設部長 令和5年3月に関係する地権者には個別の内容を説明しており、令和6年度に基本設計がまとまっ

た段階で、改めて地域住民や地権者に説明をし、現地測量や詳細設計を進める。県道の改良と併せ令和9年度の完成を目指し、進んでいる。

Q 桐生地方卸売市場の一部余剰地を利用して南口駅前広場を拡張する検討をしていると報道されたが。

A 都市建設部長 桐生市に対して検討計画を申し入れた段階であり、具体的な協議は、今後両市で行う予定。

Q 最寄り駅として、岩宿駅と阿左美駅から令和6年夏開設予定のスケートボードパークを利用者に宣伝し、誘導する考えは。

A 競艇事業局長 阿左美駅では、駅前に設置されたデジタルサイネージでポートレース業界の情報と併せ周知をする。岩宿駅では、まちづくりプランの短期計画に合わせ関係部署と検討する。また、両駅からは、ポートレースファ

ンのための無料バスが運行されており、パーク来場者にも利用してもらえよう、委託運営会社と協議をする。

Q 荒神山下草刈りを行政区をまたいで笠懸町1区、2区、3区が連携して行う必要性は。

A 教育部長 地域に開かれた学校を推進する上で大切。本市では、令和6年度から全ての学校でコミュニティスクールを導入し、学校を核とした地域ネットワークを形成し、地域課題の解決につなげたい。震災時、共助の部分でも学校が拠点となり、意味があると考えている。

Q 私立幼稚園の保護者の経済的負担軽減の考えは。

A 教育長 市の助成については研究をし、園の運営が持続するよう支援を続ける。

※デジタルサイネージ…ディスプレイやタブレットなどの電子表示媒体を活用した情報発信システムの総称。

※コミュニティスクール…学校運営協議会を設置した学校をいい、学校と地域住民などが力を合わせ、子どもたちのより良い環境づくりに取り組む仕組み。



新政クラブ

塩野 央弥 議員



健康と運動を結びつけた企画の検討は

答弁：健康を意識する機会を提供していきたい

Q 第2次みどり市健康プラン21はどの部分を重点化したのか。

A 健康づくり局長 乳幼児から学齢期は、規則正しい生活

の大切さの周知、相談体制の充実や切れ目のない子育て支援、安全なメディア使用にむけた啓発への取り組み。青年期にはメンタルヘルスの強化。壮年期から熟年期にかけては、生活改善や検診の受診率の向上、生きがいづくりなどを目指した内容としている。

Q 最近の児童生徒の運動量は減っていないか。

A 健康づくり局長 運動量の低下はみられないが、メディア利用の割合は増加している状況。

Q 青年期に必要とされる運動量がこなせているのか。

A 健康づくり局長 足りてい

ると言えない現状にあるので、運動習慣の確立に向けた取り組みや周知啓発が必要であると考えている。

Q 桐生大学グリーンアリーナトレーニングルームの登録者数は。

A 健康づくり局長 令和5年度12月末で482人、令和4年度581人、令和3年度377人、3年間の合計で1440人。

Q トレーニングルームを利用している市民の割合は。

A 健康づくり局長 市民割合は600人で42%。

Q トレーニングルームの利用金額の改定について可能性は。

A 健康づくり局長 現在は具体的に利用料の改定は考えていないが、高齢化が進み、健康寿命の延伸を目指していく中で、利用状況、医療費負担

軽減につながる効果の把握等に努めて検討していきたい。

Q 健康と運動を結びつけた企画の検討は。

A 健康づくり局長 令和6年度の事業として、市民や団体、包括連携協定を結ぶ企業等との協働により、健康づくりとスポーツを一体的に体験できるイベントを開催し、多くの市民がスポーツを身近に感じ、親しみ、健康を意識する機会を提供していきたい。

Q 新たなトレーニング施設を設置する可能性は。

A 健康づくり局長 桐生大学グリーンアリーナだけに設置されていて、東町など距離的な問題があることは認識している。施設での利用者の受け入れにかなり余裕がある状態。まずは現状の施設をしっかりと有効活用していくことが優先であると考えている。



市民クラブ

椎名 祐司 議員



国保診療所を大間々保健センター内に移設する考えは

答弁…方向性を示すことが優先である

Q 大間々老人憩いの家源泉地活用の現況は。

A 保健福祉部長 入浴設備の不具合により、令和4年3月から、入浴機能を廃止し、交流機能のみとなっている。現在、源泉及び土地の売却を予定している。

Q 現在使用されている交流施設の今後の考え方は。

A 保健福祉部長 統合先への移転が行われるまで、交流施設として継続していく。

Q 国保診療所の在り方を検討するため、有識者を含めた検討委員会の設置は。

A 健康づくり局長 庁内検討委員会だけでなく、外部の有識者や地域の方々から意見を聞き、早急に方向性を議論していくことが必要であると考えている。

Q 将来、国保診療所を大間々保健センター内に移設することと一つの方策と考えるが。

A 健康づくり局長 しっかり

と方向性を示すことが優先であると考えている。国保診療所の在り方を検討していく中で、医療機関が少ない地域への機能の移転なども議論されると考える。

Q 西鹿田グリーンパークは公共交通のアクセスが良い方ではない。車社会を反映した、少し遠くでも行きたい遊び場として、幅広い世代に親しまれる公園づくりが必要だと思われる。子どもたちが遊べる公園整備として、どのようなことが重視され評価されたのか。

A 健康づくり局長 子どもにも利用させたい遊具などの利用者目線、市民ニーズを重視した。専門家の視点から、遊具の安全性や維持管理に要するコストなども見極め、評価を行った。

Q ながめ南多目的運動公園は、運動公園としての機能は果たせないままとなっている。

る。実態の伴わない公園については、設置条例を変更していく必要があると思うが。

A 健康づくり局長 現在、プロジェクトチーム会議の中で検討を進めている。目的を変更することも含め総合的に判断していきたい。

Q ながめ南多目的運動公園は、気楽に歩いて行ける遊び場として、遊具の設置をはじめ、地域住民の健康づくりにも寄与する公園づくりが必要だと思うが。

A 健康づくり局長 市民にとって愛されるような場所になるように有効活用策を検討したい。

Q 子どものための安全な公園づくりについては。

A 市長 未来を担う子どもたちが安全に遊べる公園を整備するとともに、市外からも魅力的に映る公園整備を行いたい。



公明クラブ

宮崎

武 議員



共助によるトイレトレーラー導入は

答弁：令和6年度内の最新最良機種導入を実施する

Q 持ち出し用防災グッズの設置推進について、みどり市ホームページでは、こんなモノをそろえたい！と広報しているが、専門家の推奨品目との違いが多い。ホームページの適切な品目への改正を。

A 危機管理監 速やかに検討し、時代に即したものに更新する。

Q 公助として、持ち出し用防災グッズの購入補助を推進する考え方をもち、防災上、安心安全感向上のため、広報や推奨グッズ購入補助なども必要ではないか。

A 副市長 市民の安心感が増進する行政のためにも、早期に検討する。

Q みどり市FM放送があれば、地元の災害情報が得られ、災害時の不安と恐怖の中、地元の交流、声を聞くといい事は不安感減少につながる。防災ラジオ利用には、みどり市FM放送局を開設する必要がある。



被災地へ全国からトイレトレーラーを速やかに集結させることが助けあいのネットワークという取り組みである。みどり市も早期の助けあいジャパン加入と、共助としての購入推進

で、災害時トイレ確保の推進を願う。

Q 他地域から転入の場合、下水道接続ができず合併浄化槽設置費用が110万円以上の場合に限り、補助金の設置をする形態も必要では。

A 都市建設部長 汚水処理人口普及率増加のために、転換費用増額時に新築補助金は廃止したが、ご指摘の新規移転補助は他部署においても行っている。精査検討したい。

Q 同一名義住宅に単独浄化槽が汲み取り槽が複数あった場合、合併浄化槽転換に対する補助金は。

A 都市建設部長 同一名義で複数転換要望があった場合、汚水処理人口普及率増加を目指す本市として、汲み取り槽、単独浄化槽転換のため、基準に合えば補助金は満額支給する。

みどり市議会 掲示板

6月定例会（予定）

会期：6月4日～25日

日	月	火	水	木	金	土
5/29(水) 全員協議会 上程予定議案の説明等		6/4 本会議 長提出議案上程 開会	5 (休会)	6 (休会)	7 (休会)	8 (休会)
9 (休会)	10 本会議 一般質問	11 (休会)	12 (休会)	13 本会議 一般質問	14 本会議 一般質問	15 (休会)
16 (休会)	17 本会議 長提出議案への質疑 →委員会付託	18 (休会) 市民福祉常任委員会	19 (休会) 経済建設常任委員会	20 (休会) 総務文教常任委員会	21 (休会)	22 (休会)
23 (休会)	24 (休会)	25 本会議 委員長報告 質疑～討論～採決 閉会	は傍聴できます 開始時間は全て9時30分です 本会議はインターネット生配信の予定です は配信予定日です			

傍聴に関することは、みどり市のホームページをご覧くださいか、
議会事務局（TEL. 0277-76-1970 FAX. 0277-76-1952）までお問い合わせください。

編集後記

令和6年第1回定例会では、敬老祝金支給条例の一部改正についての議案が市長より提出され、可決されました。敬老祝金の財源の一部を、未来を見据えた地域の持続性を確保するための新たな高齢者施策に転換していくための制度見直しという内容でしたが、所管の市民福祉常任委員会協議会では2回にわたり詳細に説明を受け、その後の全員協議会でも議員による質疑応答が十分に行われ、本会議を迎えました。

今回の定例会では市長による施政方針も行われ、持続可能な都市基盤の構築について、電気バスを導入する大間々笠懸路線バスや電話でバス、東町路線バスについても運行形態の見直しや利用促進を進めるとともに、地域公共交通計画の策定に着手すると述べられておりましたが、利用者の声を踏まえ、さらなる利便性の向上に努めていきたいです。

（堀内 利之）

議会広報特別委員会編集委員



委員長
藤生吉顕



副委員長
金子勇人



委員
深澤輝彦



委員
堀内利之



委員
石原真理子



委員
中村正義



委員
塩野央弥

次回の定例会は6月4日（火）開会予定